

あなたがここにいるから...2nd



風薫る5月です。

雪小の周りの山々の緑が鮮やかに彩ってきました。明日、雪小っ子は3年ぶりに本格開催される「雪浦ウィーク」に参加し、各所で街角ライブを行います。子供たちも楽しみにしている様子です。

<今月の主な行事予定>

- 2日(火) 雪浦ウィーク参加
- 11日(木) 内科検診
- 17日(水) 1年生心電図検査
- 19日(金) フッ化物洗口開始
- 23日(火) 体カテスト
- 25日(木) 1・3・5年生耳鼻科検診
- 31日(水) 歯科検診

※ 詳細については、各学級発行のお便りで確認願います。

先生たちの勉強会スタート!

今年も雪小の先生たちによる勉強会(校内研究)が始まりました。

すでにご承知の通り、雪小では昨年度から子供たち自らが主体的に学ぶ授業「雪小スタイル」を目指し、研究に取り組んでおります。昨年度は11月に研究発表会を実施、西海市内外の先生方に研究の成果を発信しました。

今年度は研究発表こそ予定しておりませんが、よりよい授業を目指す雪小の先生方の探求心はどこまでもとどまるところを知りません。

先日、さっそく今年度第一回目の授業研究会を実施しました。

第一回目は、北村先生による3年生の算数「わり算」の授業でした。



授業開始の号令のあと、ガイド役の子供の進行により子供自らが授業を展開していきます。前の時間に学習したことを振り返り、この時間に提示された問題との違いを出し合います。

みんなで学習のめあてを考え、そのめあてに向かい、一人一人が自分の考え方をもちます。



その後、全員の考えを確認し、学習のまとめ、振り返りへと自分たちで進めます。

4月から新たに3年生に仲間入りした2人も、すっかりこの学習スタイルに慣れ、積極的に発言していました。



45分の授業時間に聞こえてくるのはほとんどが雪小っ子の声。先生の声は、子供の考えを導いたり、揺さぶったりと、授業のポイントポイントで時折聞こえてくるだけです。

さて、私たち教員のバイブルともいえる現行の「学習指導要領」では、「主体的・対話的で深い学び」への授業転換が求められています。つまり、従前行われていた教師主導の講義型授業から、子供自らが主体的に学ぶ授業への転換が強く求められています。

たいそう手前味噌になってしまいますが、本で行われた授業、本校が目指す「雪小スタイル」の学習は、その求めにこたえられるものであると自負しております。今後も全教職員一丸となって授業研究に取り組んでまいります。

ところで、授業を行った北村先生といえば、ご承知の通り、昨年度末に定年退職を迎えられた大ベテランです。研究授業を参観して、先生の授業や子供の成長にかける思い、よりよい授業を目指す気持ちは、ますます高まっているように感じました。「私もがんばらねばっ!」(文責 校長)